

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

提出日を記載してください。

2026年〇月〇日

三重県知事 殿

個人事業者は事業者自身、法人事業者はその代表者が提出者となります。

支店長、営業所長、工場長等が提出者となっても差し支えありませんが、個人情報保護の観点から役職名、氏名を公表しないことがあります。

なお、押印は不要です。

提出者

住所 〇〇市〇〇町〇-〇

氏名 株式会社〇〇〇  
代表取締役 〇〇 〇〇

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2025年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社〇〇〇 三重工場
事業場の所在地	〇〇市〇〇町〇〇番地
事業の種類	E16 製造業/ 化学工業
産業廃棄物処理計画における計画期間	2025年4月1日～2026年3月31日

ドロップダウンリストから中分類区分の業種を選定してください。

前年度提出した処理計画書(様式第二号の八)で定めた計画期間としてください。

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
① 排出量	2200 t	⑩ 全処理委託量	500 t
⑤ 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	30 t
⑦ 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1700 t	⑫ 再生利用業者への処理委託量	400 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	100 t
		⑭ 認定熱回収業者以外への熱回収を行う業者への処理委託量	t

目標値については、前年度提出した処理計画書(様式第二号の八)の別紙1で定めた目標値の合計量を転記してください。

※事務処理欄

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: **Ⅰ. 汚泥**)

・脱水前後の含水率から脱水前の汚泥の量を算出  
 脱水後量 × (100 - 脱水後の含水率) / (100 - 脱水前の含水率)  
 $197t \times (100 - 75) / (100 - 98) = 2462.5t$

不要物等発生量

当該事業場から生じた汚泥の合計量(トン)

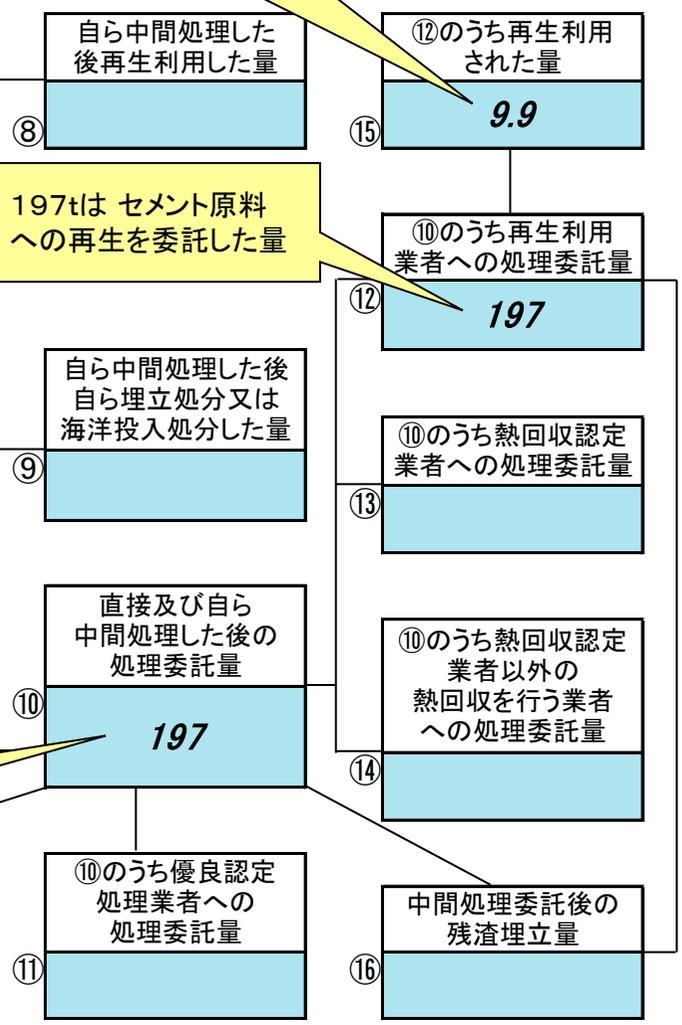


項目	実績値
①排出量	2462.5
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	2265.5
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	197
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	197
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

197tは 自ら中間処理した後の処理委託量

再生利用量は  $197t \times 5\% = 9.9t$   
 (中間処理による再生率=5%の場合)

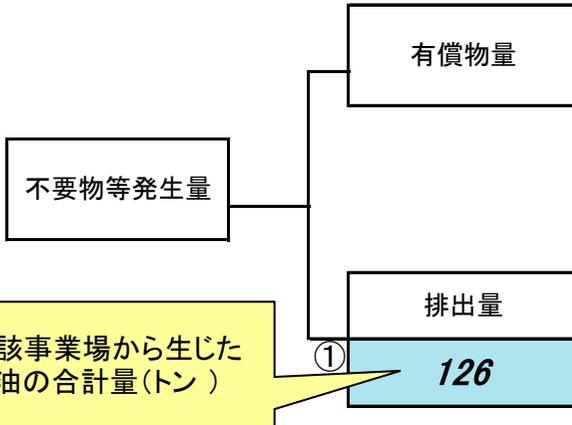
記入願います  
 記入不要です



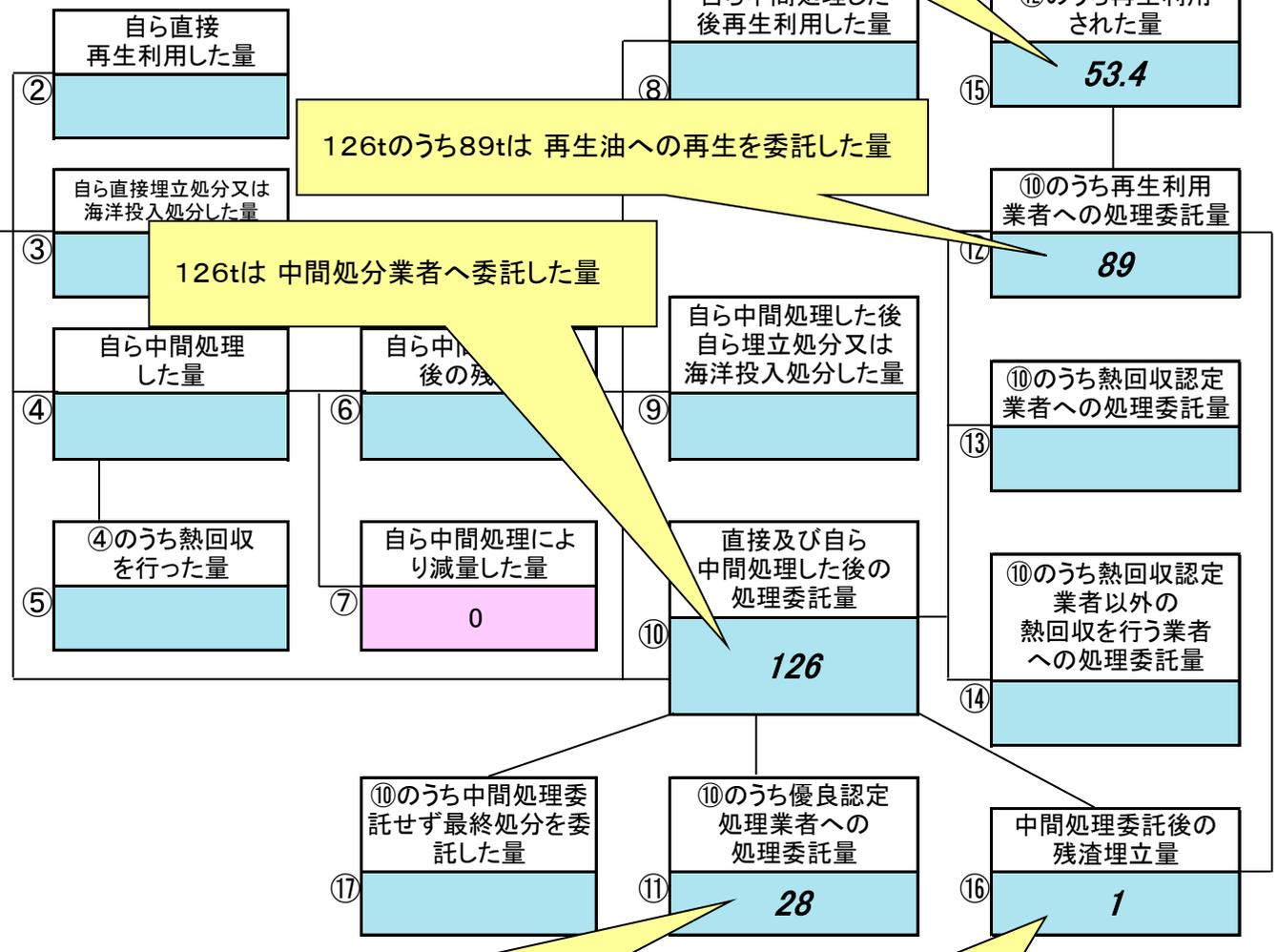
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ウ. 廃油)

記入願います  
記入不要です



項目	実績値
①排出量	126
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	126
⑪優良認定処理業者への処理委託量	28
⑫再生利用業者への処理委託量	89
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



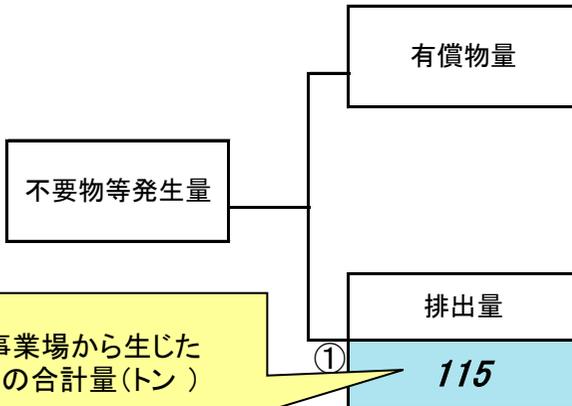
126tのうち28tは 優良認定処理業者へ委託した量  
※委託先が優良認定処理業者か不明な場合は、産廃情報ネット(さんぱいくん)にて検索・閲覧できます。

126tのうち37tを 焼却委託した 焼却後の残さ 1tは 埋立処分された量

計画の実施状況

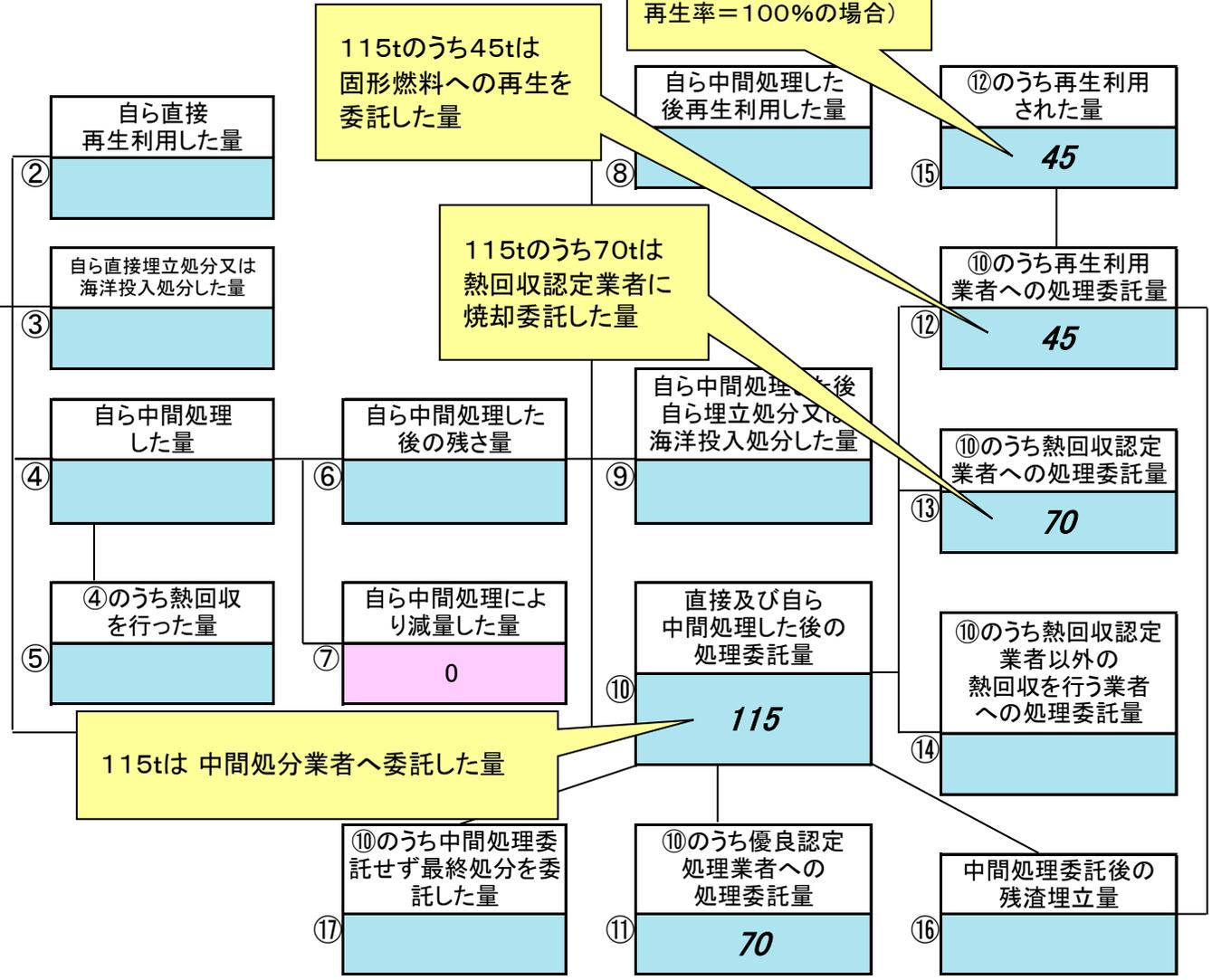
(産業廃棄物の種類: 加. 廃プラスチック)

記入願います  
記入不要です



当該事業場から生じた  
廃プラの合計量(トン)

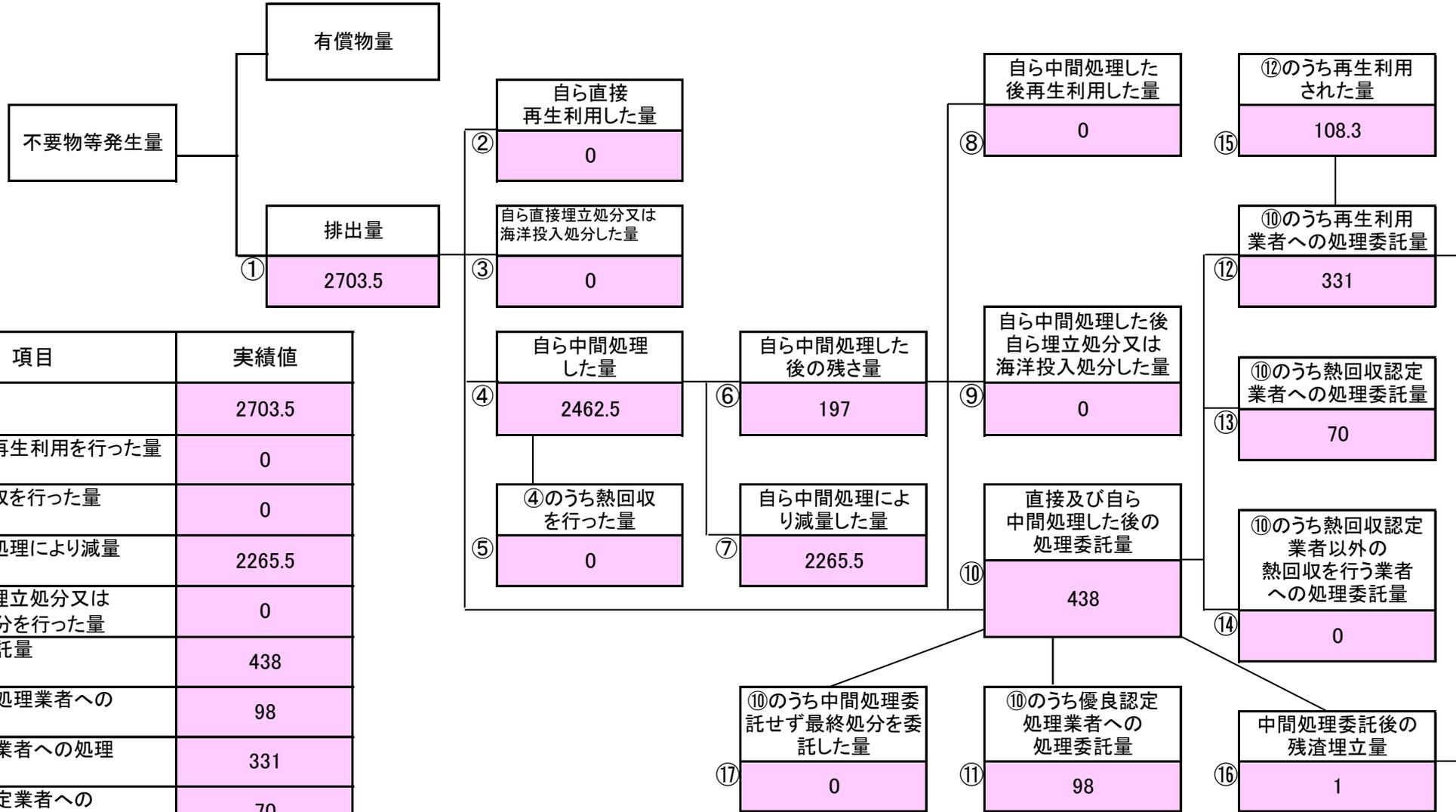
項目	実績値
①排出量	115
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	115
⑪優良認定処理業者への処理委託量	70
⑫再生利用業者への処理委託量	45
⑬熱回収認定業者への処理委託量	70
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 事業所全体)

記入不要です



項目	実績値
①排出量	2703.5
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	2265.5
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	438
⑪優良認定処理業者への処理委託量	98
⑫再生利用業者への処理委託量	331
⑬熱回収認定業者への処理委託量	70
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

項目	産業廃棄物の種類																				合計量 (t)	
	ア 燃え殻	イ 汚泥	ウ 廃油	エ 廃酸	オ 廃アルカリ	カ 廃プラスチック	キ ゴムくず	ク 金属くず	ケ ガラス・コンクリート・陶磁器くず	コ 鋳さい	サ がれき類	シ ばいじん	ス 紙くず	セ 木くず	ソ 繊維くず	タ 動植物性残さ	チ 家畜のふん尿	ツ 家畜の死体	テ 動物系固形不要物	ト 13号廃棄物		ナ 建設混合廃棄物
① 排出量	0	2462.5	126	0	0	115	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2703.5
② 自ら直接再生利用した量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④ 自ら中間処理した量	0	2462.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2462.5
⑤ ④のうち熱回収を行った量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥ 自ら中間処理した後の残さ量	0	197	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	197
⑦ 自ら中間処理により減量した量(④-⑥)	0	2265.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2265.5
⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
a 自ら再生利用を行った量(②+⑧)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
b 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(③+⑨)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	0	197	126	0	0	115	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	438
⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	0	0	28	0	0	70	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	98
⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量	0	197	89	0	0	45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	331
⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	0	0	0	0	0	70	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70
⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑮ ⑫のうちの再生利用量	0	9.9	53.4	0	0	45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	108.3
c 再生利用量合計(a+⑮)	0	9.9	53.4	0	0	45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	108.3
⑯ 中間処理委託後の残渣埋立量	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
⑰ 最終処分委託の埋立量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
d 埋立量合計(b+⑯+⑰)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

(注) 本シート(別紙2)は、前シート(各種産業廃棄物のフロー図「計画の実施状況」)から自動転記されますので、記入できません。